平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	卒業研究(Graduation Thesis)			授業コード	C109906
担当教員名	池田　多門			科目ナンバリングコード	J41704
配当学年	4	開講期	前期		
必修・選択区分	必修	単位数	6		
履修上の注意または履修条件	グループで研究しますので、グループ員全員の参加、協力、コミュニケーションが重要です。				
受講心得	研究には必ず壁があります、そこを苦労して乗り越えることが重要です。				
教科書	なし				
参考文献及び指定図書	研究に係わる文献等				
関連科目	研究ゼミナール				

授業の目的	卒業資格を得るための一過程であると共に、これまでの受け身の講義受けでなく、自主的に、考え、勉強し、苦労し、成功経験あるいは失敗経験をすることこそが目標です。
授業の概要	教員との協議により、学生が特定のテーマを選び、成果を出すための研究計画を自主的に立案して、それを実行します。途中で現れる困難に対処しながら結論を出して、その経過及び成果を卒業論文としてまとめます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： 研究テーマの検討(1) 自分のやりたいテーマを考え、文献調査などを含めて検討し研究テーマを設定します。既存の継続したテーマを選択する場合は、これまでの研究内容を調査検討して、今後の狙い、進め方を設定します。研究は基本的に個人でなくグループで実施します。	文献等の調査
第 2 週 ： 研究テーマの検討(2) 自分のやりたいテーマを考え、文献調査などを含めて検討し研究テーマを設定します。既存の継続したテーマを選択する場合は、これまでの研究内容を調査検討して、今後の狙い、進め方を設定します。研究は基本的に個人でなくグループで実施します。	文献等の調査
第 3 週 ： 研究テーマの検討(3) 自分のやりたいテーマを考え、検討し研究テーマを設定します。既存の継続したテーマを選択する場合は、これまでの研究内容を調査検討して、今後の狙い、進め方を設定します。研究は基本的に個人でなくグループで実施します。	文献等の調査
第 4 週 ： 研究計画の作成(1) 研究計画作成します。	文献等の調査
第 5 週 ： 研究計画の作成(2) 研究計画作成します。	文献等の調査
第 6 週 ： 研究の実施(1) 研究を行います。	
第 7 週 ： 研究の実施(2) 研究を行います。	
第 8 週 ： 研究の実施(3) 研究を行います。	
第 9 週 ： 研究の実施(4) 研究を行います。	
第10週： 研究の実施(5) 研究を行います。	

第11週： 研究の実施（6） 研究を行います。	
第12週： 研究の実施（7） 研究を行います。	
第13週： 研究の実施（8）および論文作成 研究を行いながら論文作成を行います。	
第14週： 研究の実施（9）および論文作成 研究を行いながら論文作成を行います。	
第15週： 研究の実施（9）および論文作成 研究を行いながら論文作成を行います。	
第16週： 論文発表会 研究室内で論文発表会を行います	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	①自主的に考えて計画し行動することができる。
【知識・理解】	③研究成果の達成を目指し成功経験あるいは失敗経験を通じて技術探求の難しさ、面白さ、あきらめない心を養う。
【技能・表現・コミュニケーション】	②グループ活動を通じて人間力をつける。
【思考・判断・創造】	④計画から設計、製造、実験の各段階を経験し、この間の失敗や成功経験から思考・判断・創造力 を養う。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	0点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		**10点**		
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		**30点**		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			**10点**	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		**50点**		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**

レポート・作品等 （提出物）	研究実施状況および卒業論文で評価します。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他 （無形成果）	卒業研究発表会を行います。